

# 2

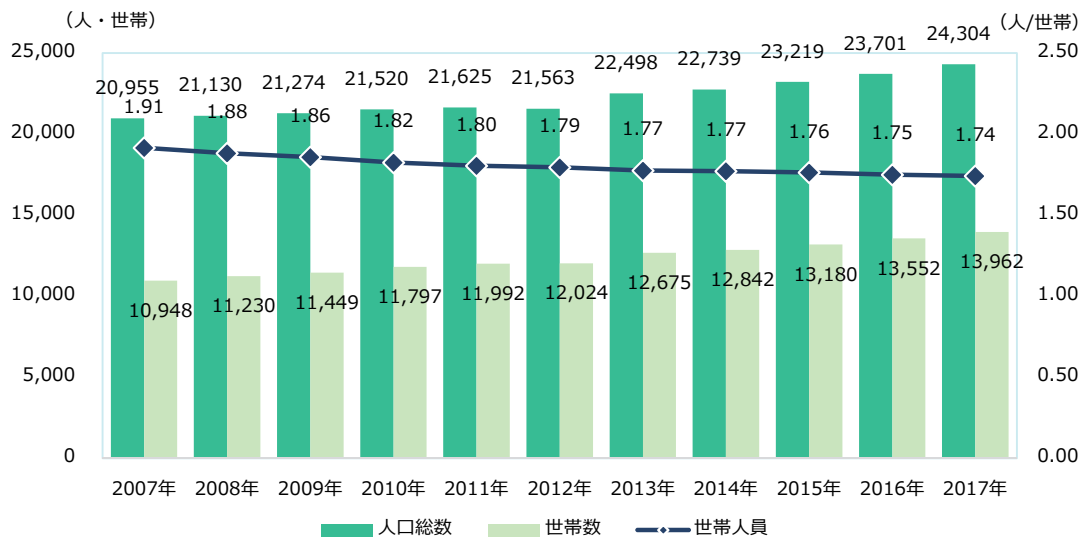
## 現状と課題

町田市の中心市街地（原町田一丁目～原町田六丁目、森野一丁目、森野二丁目、中町一丁目、中町二丁目）と、JR町田駅南地区の現状を整理します。

### 2-1. 中心市街地の人口

#### ○中心市街地の人口・世帯数・世帯人員

- ・ 中心市街地の人口・世帯数は、過去10年、ともに増加傾向を示しています。  
（2007～2017：人口+16%、世帯数+28%）
- ・ 1世帯あたりの構成人員数は減少しており、単身世帯が増加していると推測されます。

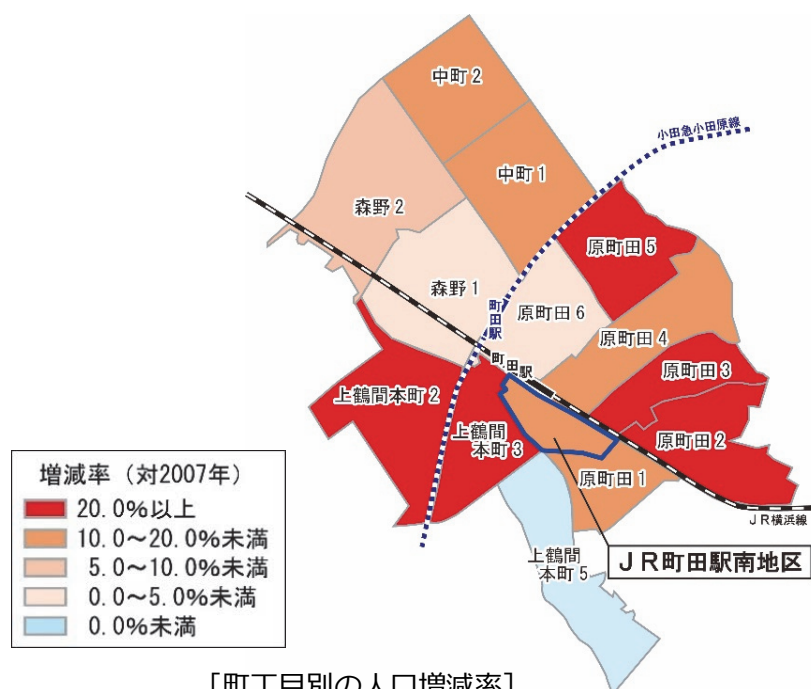


[人口・世帯数・世帯人員の推移（中心市街地）]

資料：住民基本台帳（各年1月1日）

### ○町丁目別の人口増減

- ・ 中心市街地の全ての町丁目で人口が増加しています。
- ・ J R 町田駅南地区に隣接する、相模原市南区上鶴間本町二・三丁目も同様に増加しています。
- ・ これらの人口増加は、商業集積地であるまちなかを取り囲む駅至近の利便性に恵まれた住環境が形成されてきた中、大型マンション開発が続いたことが影響したと推測されます。



[町丁目別の人口増減率]

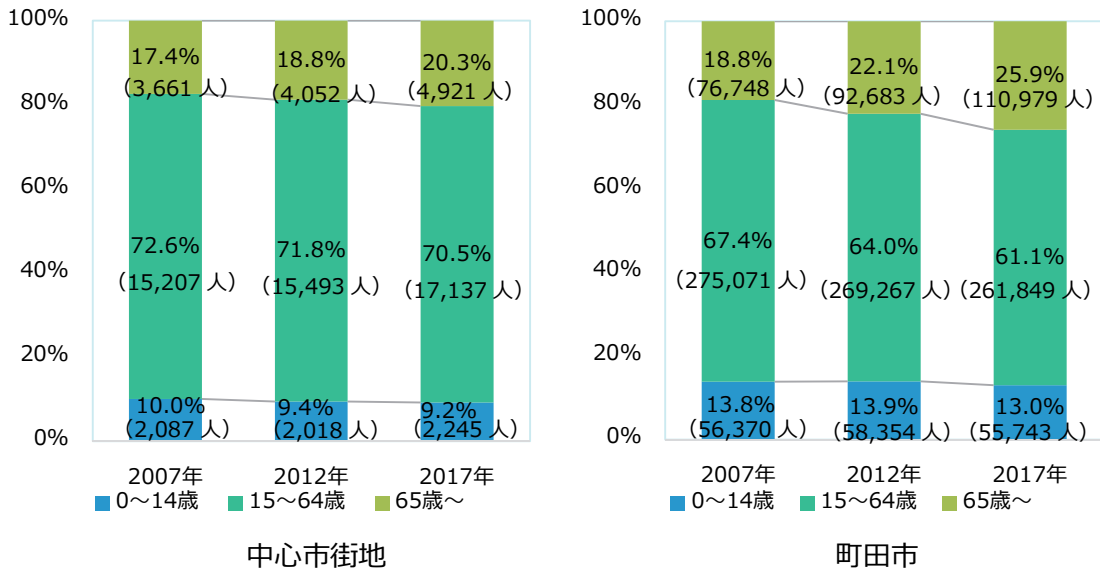
資料：住民基本台帳（各年1月1日）

	町丁目	人口（人）		増減（%）
		2007年	2017年	対2007年
町田市	原町田一丁目	2,762	3,076	11.4%
	原町田二丁目	3,287	4,200	27.8%
	原町田三丁目	743	1,312	76.6%
	原町田四丁目	2,510	2,822	12.4%
	原町田五丁目	1,706	2,143	25.6%
	原町田六丁目	592	601	1.5%
	森野一丁目	2,475	2,496	0.8%
	森野二丁目	2,682	2,895	7.9%
	中町一丁目	2,424	2,749	13.4%
中町二丁目	1,774	2,010	13.3%	
相模原市南区	上鶴間本町二丁目	2,732	3,492	27.8%
	上鶴間本町三丁目	2,158	2,820	30.7%
	上鶴間本町五丁目	2,794	2,764	-1.1%

資料：住民基本台帳（各年1月1日）

### ○年齢三区分別人口

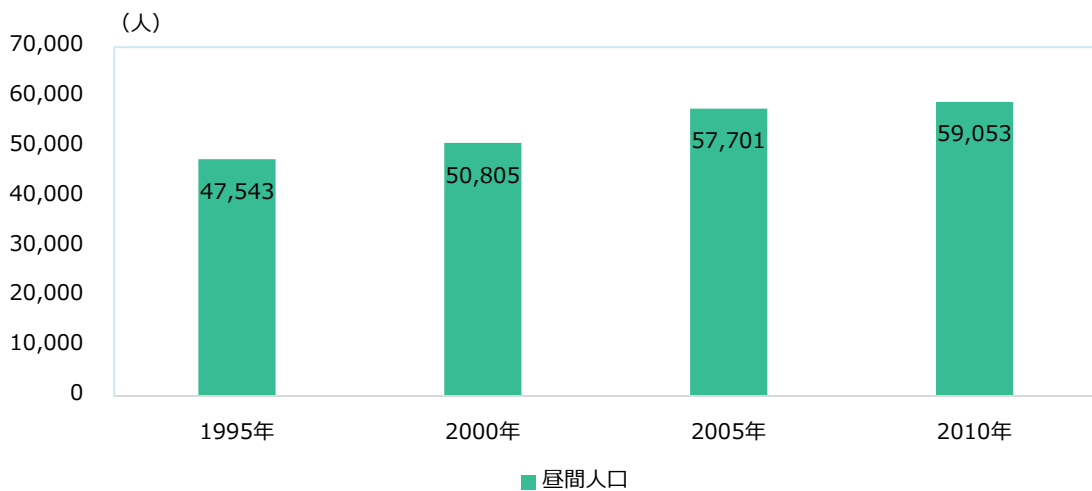
- ・ 中心市街地の年齢構成は、町田市平均に比べると、生産年齢人口（15～65歳）の割合が高く、老年人口（65歳以上）の割合が低いことが特徴です。
- ・ 中心市街地の生産年齢人口、年少人口（0～14歳）の割合は、ともに減少傾向ですが、人口増加に伴い、実数は増加傾向にあります。



資料：住民基本台帳（各年1月1日）  
※年齢不詳を除く

### ○昼間人口

- ・ 中心市街地の昼間人口は増加傾向を示しており、1995年から2010年の15年間で、約25%増加しています。

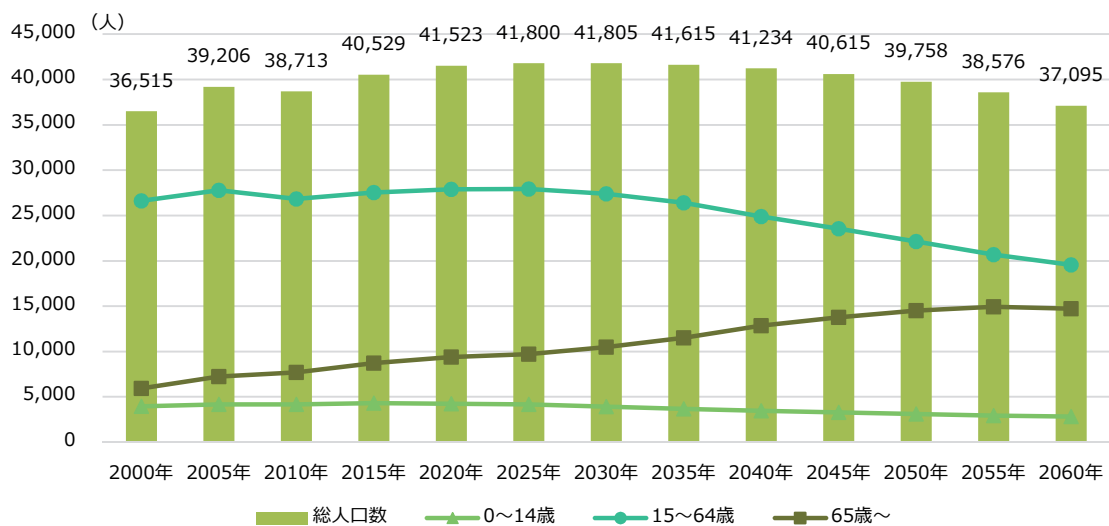


[昼間人口の推移（中心市街地）]

資料：国勢調査

## ○将来推計人口

- ・ 町田中心地域（旭町、中町、原町田、森野）の人口は、2030年にピークを迎え、その後、緩やかに減少すると推計されています。



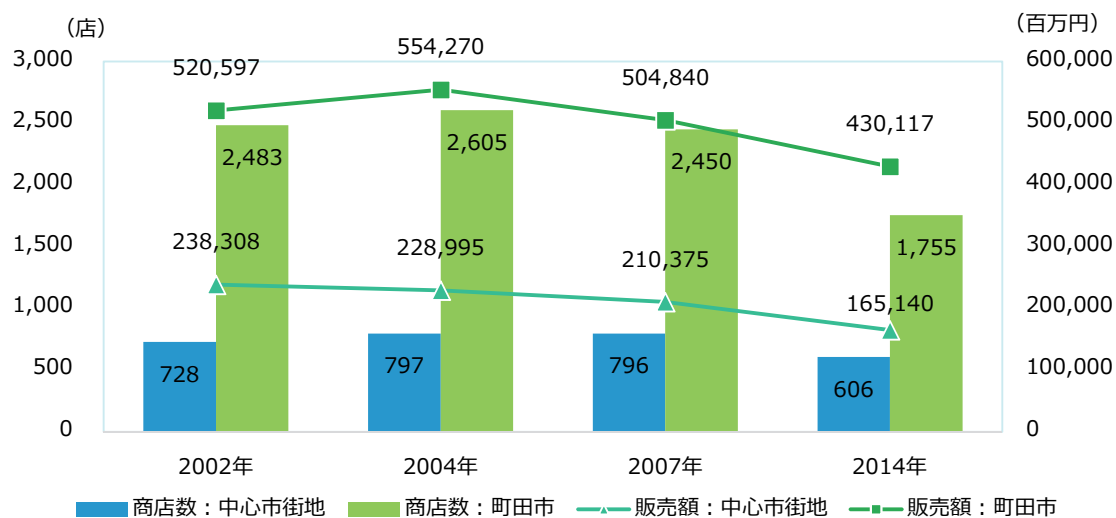
### [将来推計人口（町田中心地域）]

資料：「将来人口推計（町田市HP）」（町田市未来づくり研究所 2015. 7）

## 2-2. 中心市街地の産業

### ○商業（小売業）

- ・ 中心市街地の商店数・年間商品販売額は、2007年から2014年にかけて、ともに20%以上減少しました。
- ・ 町田市全体と比べると、商店数の減少率は小さいですが、年間販売額の減少率は大きいことから、1商店あたりの売上げの減少率が大きいと推測されます。



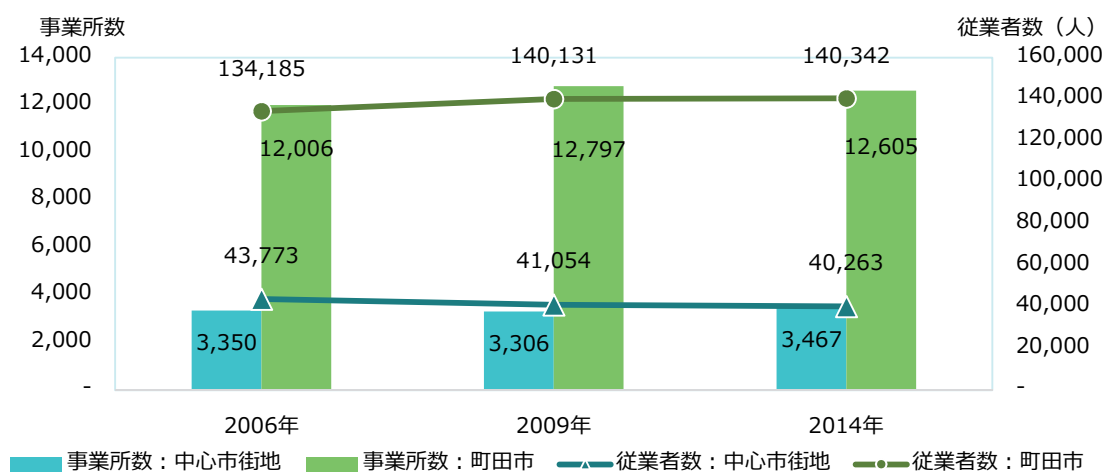
[商店数・年間商品販売額の推移（町田市・中心市街地）]

資料：商業統計調査（H14・16・19）、平成26年商業統計（経済産業省）

（注）商店数は、小売業の事業所数を表します。

### ○事業所

- ・ 中心市街地及び町田市の事業所数・従業者数は、2006年から2014年にかけて、大きな変化は見られず、安定しています。



[事業所数・従業者数の推移（町田市・中心市街地）]

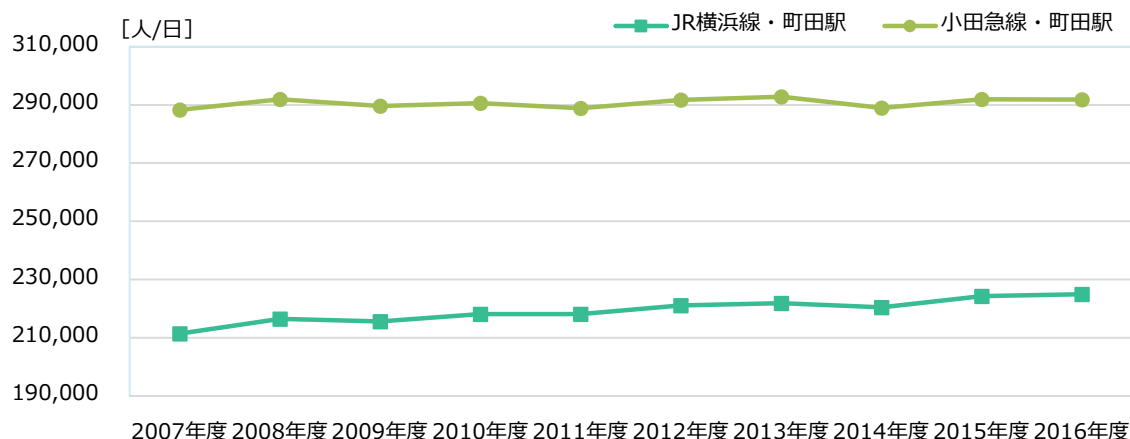
資料：平成18年事業所・企業統計調査、平成21年・26年経済センサス-基礎調査結果（総務省統計局）

（注）事業所数は全産業の総数を表します。

## 2-3. 中心市街地の交通

### ○鉄道利用状況

- ・ 町田駅の1日平均の乗降人員の推移は、小田急線町田駅は横ばい傾向にあり、JR横浜線町田駅は増加傾向にあります。
- ・ JR横浜線町田駅は、2007年度から2016年度にかけて、約6%増加しています。



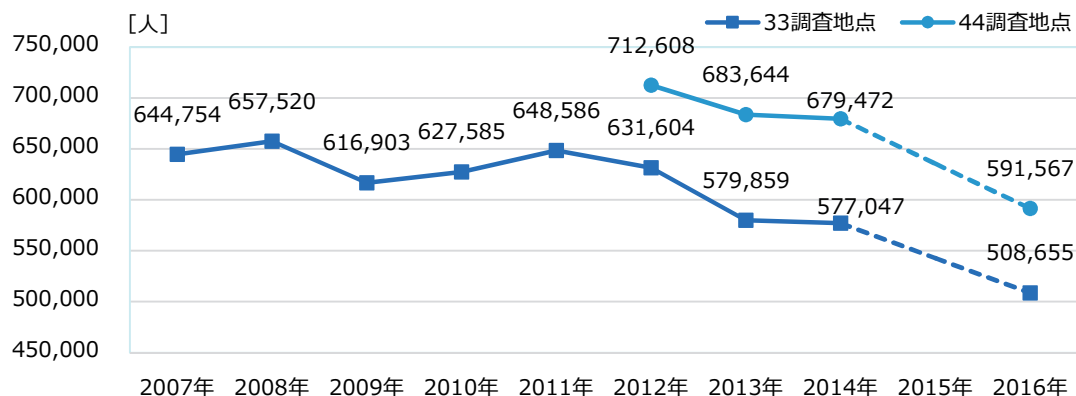
2007年度 2008年度 2009年度 2010年度 2011年度 2012年度 2013年度 2014年度 2015年度 2016年度

[鉄道駅乗降人員 (2007～2016年推移)]

資料：関東交通広告協議会

### ○歩行者通行量 (中心市街地)

- ・ 中心市街地において毎年、33地点で実施している歩行者通行量調査 (2015年は休止、2012年からは44地点) によると、2007年から2016年にかけて、中心市街地の歩行者通行量は、約20%減少しています。
  - ・ 町田駅利用者は増加傾向にあるにもかかわらず、歩行者通行量の減少が続いている状況です。
- \*注：2016年に大幅に減少した最大の原因は、曇りのち小雨であった天候によるものと推測されます。



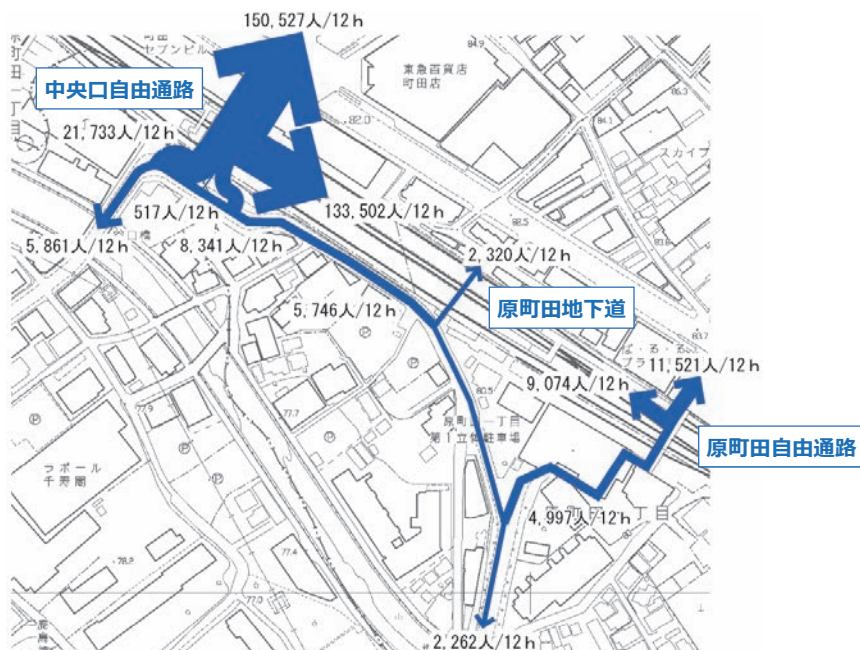
2007年 2008年 2009年 2010年 2011年 2012年 2013年 2014年 2015年 2016年

[歩行者通行量推移 (中心市街地)]

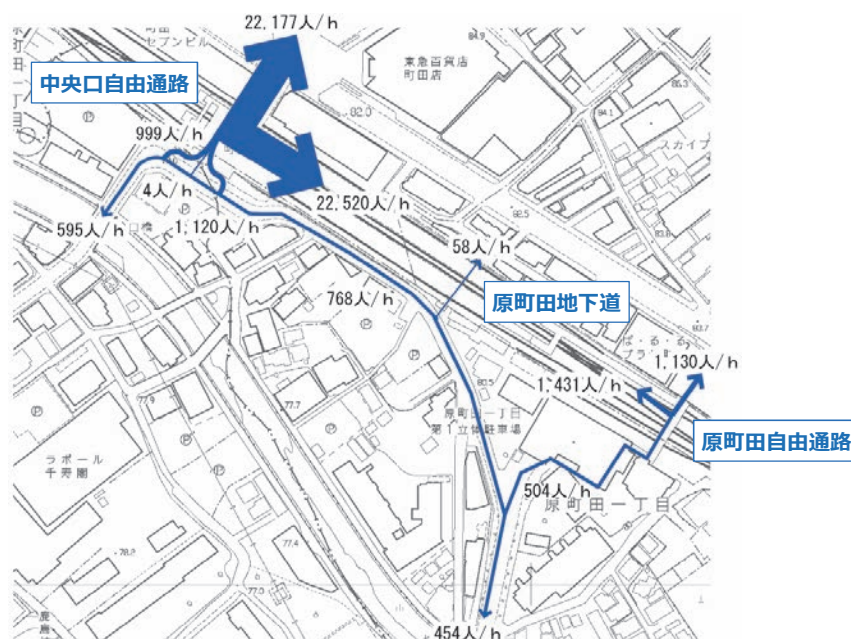
資料：「町田市中心市街地通行量調査」(～2014 町田商工会議所、2016 中心市街地活性化協議会)

## ○ J R 横浜線の南北をつなぐ歩行者動線

- ・ J R 横浜線の南北をつなぐ中央口自由通路、原町田地下道、原町田自由通路のうち、J R 町田駅中央口改札に接続する中央口自由通路は、12時間あたり約15万人（ピーク時 約2.2万人）が通行します。ターミナル口改札に接続する原町田自由通路は約1.1万人（同約1千人）、原町田地下道は約2千人（同約60人）にとどまります。



[12時間(7:00~19:00)の歩行者通行量]



[ピーク時(7:00~8:00)の歩行者通行量]

出典：原町田一丁目地区まちづくり基礎調査等業務報告書（2010年度）

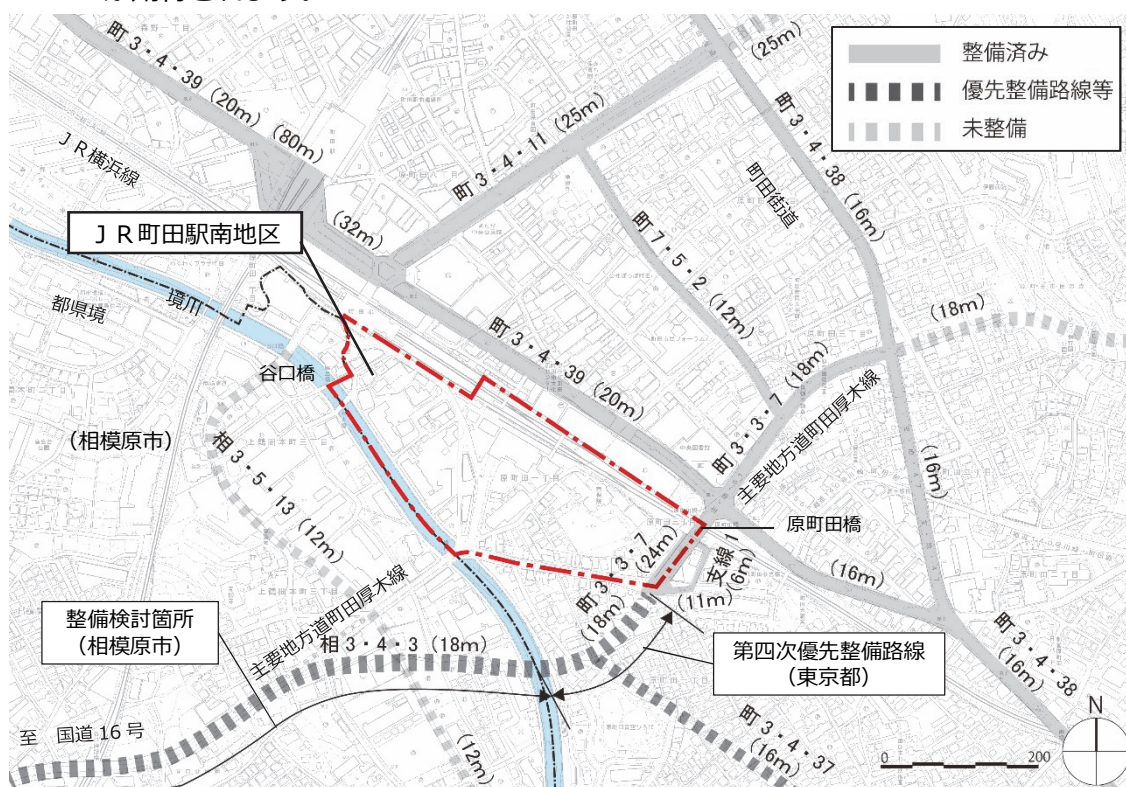
## ○町田駅周辺の道路ネットワーク

### <都市計画道路の整備状況>

- ・ 町田市側の都市計画道路は、J R横浜線町田駅の北側は概ね整備済みですが、駅南側の 町3・3・7 及び 町3・4・37 は未整備です。
- ・ 相模原市側の都市計画道路は、町3・3・7 へ接続する 相3・4・3 と、これに直交して、J R町田駅中央口南側の谷口橋付近を起点とする 相3・5・13 がありますが、いずれも未整備です。

### <未整備都市計画道路の今後の動向>

- ・ 町3・3・7 の原町田橋交差点付近から都県境（境川）までの間の未整備区間は、「東京における都市計画道路の整備方針（第四次事業化計画）」（2016年3月）において、東京都施行路線として、今後10年間で優先的に整備すべき路線（第四次優先整備路線）に位置づけられています。
- ・ 町3・3・7 から国道16号へつながる 相3・4・3 は、「相模原市新道路整備計画（改訂版）」（2017年3月）において、地域や関係機関と調整を図りながら事業化に向けた検討を行う箇所（整備検討箇所）に位置づけられています。
- ・ これらの都市計画道路が整備されることにより、主要地方道町田厚木線の混雑緩和が期待されます。



[都市計画道路の整備状況]



## 2-4. 町田市をとりまくプロジェクト動向

町田市周辺及び町市内では、鉄軌道の延伸や、拠点創出により賑わいと交流を生み出す複数のプロジェクトが進められています。これらのプロジェクトの実現に伴い、今後、町田駅の鉄道利用者・町田市中心市街地への来街者のさらなる増加が期待されます。

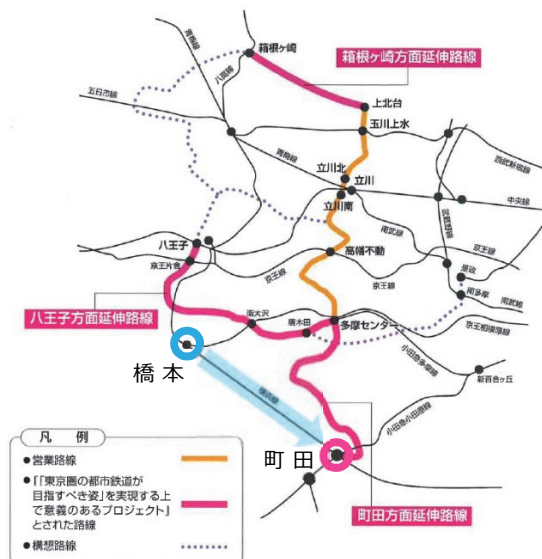
### ○鉄軌道の延伸

#### <リニア中央新幹線>

- ・ 東京と大阪をつなぐ「リニア中央新幹線」は、2027年の東京都～名古屋市間の開業に向けて現在手続きが進められており、神奈川県内の駅が「橋本駅付近」に設置されることが予定されています。
- ・ リニア中央新幹線の開業により、東京都心、中部圏、近畿圏間の速達性は飛躍的に向上し、橋本駅付近に設置される駅に近接する町田駅の利用者も増加することが期待されます。

#### <多摩都市モノレールの町田方面延伸>

- ・ 2016年4月20日に国の交通政策審議会から出された「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」の答申において、多摩都市モノレールの町田方面延伸路線は、『「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のあるプロジェクト』とされました。さらに、「事業化に向けて関係地方公共団体、鉄道事業者等において具体的な調整を進めるべき」と示され、これまでの検討段階から、事業化に向けた調整段階に大きく前進しました。



出典：多摩都市モノレール町田方面延伸促進パンフレット（町田市 2016.9）

#### <小田急多摩線の延伸>

- ・ 現在、新百合ヶ丘駅から唐木田駅まで整備・運行されている小田急多摩線を、町田市を通り、JR横浜線相模原駅・JR相模原線上溝駅へ延伸する計画です。



出典：小田急多摩線延伸路線図（町田市 HP）

- ・ 2016年4月20日に国の交通政策審議会から出された答申において、小田急多摩線の延伸は、「東京圏の都市鉄道が目指すべき姿」を実現する上で意義のある24のプロジェクトの一つとされました。

## ○町田市における拠点創出プロジェクト

### ＜南町田駅周辺のまちづくり＞

- 東急田園都市線南町田駅周辺地区において、町田駅周辺に次ぐ、にぎわいの拠点である「副次核」として、多世代がいきいきと暮らす、より魅力のあふれるまちを目指し、未来へ続くまちづくりを進めています。2019年秋のまちづくりを目標として、現在整備が進められています。



出典：南町田駅周辺地区拠点整備基本方針（町田市 2015.6）

### ＜鶴川駅周辺のまちづくり＞

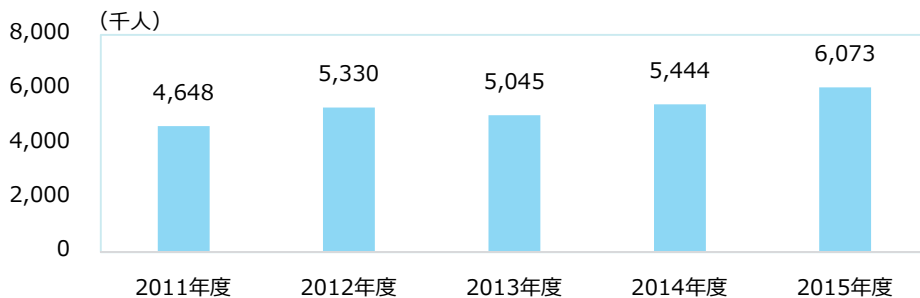
- 小田急線鶴川駅周辺において、賑わい拠点である「副次核」として、「安全で便利な交通」と「快適で賑わいのある駅前空間」の実現を目指し、まちづくりを進めています。



出典：鶴川駅周辺再整備基本方針（町田市 2016.10）

## 【参考】観光入込客数の推移

- 町田市を訪れる観光客の数は、増加傾向にあります。
- 2015年度の観光入込客数は約600万人で、2011年度に比べると約30%増加しています。



[町田市における観光入込客数]

資料：東京都観光客数等実態調査結果